

デザイナー 経済性分析レポート

はじめに


ソーラーエッジデザイナーアプリケーションの経済性分析機能は、設置業者に、ソーラーエッジ太陽光発電システムおよび製品を設置した後にお客様が享受できるシステムコストと将来の経済的利益を正確に予測する能力を提供します。

このセクションをご覧になれば、以下について知ることができます：

- 経済性分析タブの配置と機能
- コストを評価するために必要な経済性に関する情報
- お客様が投資から得られる経済的な利益を予測すること

本ガイドでは、経済性分析タブをその構成と流れに従って説明しています。

経済性分析タブの配置

経済性分析タブは、デザイナーのナビゲーションバーにある  経済性分析をクリックすることにより、デザイナーツール内から簡単にアクセスできます。このタブはひと組のカードとして配置されており、各カードはシステムの異なる電力や経済的側面を扱います。タブを開くと、経済性パラメータカードおよび消費電力カードの一部が表示されます。



タブを下にスクロールすると、残りのカードが表示されます。

- [経済性パラメータ](#)
- [消費電力](#)
- [補助金](#)
- [システム価格](#)
- [部品表 \(BOM\)](#)
- [エネルギー消費と売電価格](#)

経済性分析情報が完了すると、以下のいくつかの経済性レポートを見ることができます：

- [経済性の概要](#)
- [予想電気料金削減額](#)
- [詳細な経済性分析](#)
- [年間キャッシュフロー](#)

こうしたレポートには、お客様がいつ投資額の損益分岐点に到達するか、またソーラーエッジ太陽光発電システムや製品を設置することで毎月もしくは毎年どれだけの金額が節約できるかを示した有益なグラフやチャートが含まれます。

経済性分析タブでの作業

経済性分析タブを構成する各カードに情報を入力する順序には、厳格なルールはありません。ただし、提供する情報が多いほど、プロジェクトサマリーに提示される経済性予測はより完全で正確なものになります。このガイドの目的のため、ワークフローはタブに表示されたカードを上から下に向かって実行します。

経済性パラメータカード

経済性パラメータカードに示される情報は、現地の金融市場の状況と、ソーラーエッジ太陽光発電システムに関連した財務上の期待値を反映したものです。便宜上、各経済性パラメータの説明は[経済性パラメータの用語](#)セクションに示されています。

| 経済性パラメータ | | | |
|-----------------|---------------|---|-------------------------|
| ● ¥ JPY | 一般的な金利 2% | 予想される電気料金値上げ 1%/年 | 予想される発電量低下率 0.4%/年 |
| システム稼働期間 20年 | 機器保証期間 10年 | 年間O&Mコスト 100¥/kW(直流) | 装置交換コスト 5000¥/kW(交流) |
| 国税率 0% | 地方税率 0% | 電気料金削減が次によって収入として課税さ れます。 <input type="checkbox"/> 国税 <input type="checkbox"/> 地方税 | |

▶ 経済性パラメータカードの記入

- 通貨ドロップダウンメニューから、サイトの経済性計算に使用する通貨を選択します。
- 一般的な金利には、銀行や金融機関が顧客に投資に対して提供している一般的な金利を入力します。この金利は、太陽光発電設備の使用に関連した長期的な投資効果が、単に銀行に預金した場合よりも大きいかどうかを判断するために使用されるいくつかのパラメータの一つです。
- 予想される電気料金の値上げ 電気料金が毎年どのくらい上がるかを示す割合を入力します。
- 予想されるシステム発電量の低下 太陽光モジュールの効率が1年ごとにどの程度低下するかを表した割合を入力します。
- システム寿命には、想定されるシステムの稼働年数を入力します。
- 機器寿命には、交換が必要になるまでに想定されるシステム機器の稼働年数を入力します。
- 年間O & Mコストには、システムに設置された装置のkW(DC) 当たりの運用および保守にかかる年間の想定金額を入力します。
- 機器交換コストには、機器寿命期間の終了時に、システム機器を交換する際のkW 当たりのコストを入力します。
- 国税率には、売電量に適用される国税率を入力します。
- 地方税率には、売電量に適用される地方税率を入力します。
- 電気代削減額は収入として課税されるには、電気代削減額を課税対象の収入として経済性計算に含める必要がある場合に、国税および/または地方税チェックボックスを選択します。

消費電力カード

消費電力カードに表示される情報は、設定された期間に使用される予定の電力量を kWh で表したもので、年間または月間で表示されます。初期状態では、消費量に表示される値は、プロジェクト情報ページに入力したものと同じです。電力消費量の値がプロジェクト情報の一部として入力されていない場合は、経済性分析ページの消費電力フィールドは空白になります。電力消費量カードの消費量の値を変更すると、プロジェクト情報ページにリストされた値が更新されます。また、デザイナーはカスタマイズされた単位時間毎の消費データの使用をサポートしており、消費プロファイルを使用する場合よりも、将来の消費量をより正確に推定する手段を提供します。

消費電力チャートは、推定消費量と選択された消費プロファイル、または単位時間毎の消費データファイルから読み込まれたデータを考慮して、1年間の月ごとの予想電力消費量を表します。

用語のリストと住宅用および商業用の典型的な消費プロファイルは、[電力消費用語](#)のセクションに含まれています。



消費プロファイルを使用した推定消費量

▶ 消費電力を設定する

1. 予想される電力消費量を表す値を kWh として入力します。
2. 期間ドロップダウンリストから、年間または月間使用を表す消費量の値を選択します。
3. 消費量プロファイルドロップダウンリストから、お客様の電気使用量を最もよく表すプロファイルを選択します。リストに示されるオプションは、プロジェクト情報ページでサイトが住宅か産業用のどちらに定義されているかによって異なります。


カスタマイズされた単位時間毎の消費データ

デザイナーは、お客様の単位時間毎の電気使用量データ読み取り値のアップロードをサポートしています。カスタマイズしたデータは、将来の消費量をモデル化する際の精度を高めます。お客様の年間消費量や典型的な消費プロファイルを使用しないで、ファイル内のデータが使用されます。

データはCSVファイルで供給され、[Green Button xml](#) フォーマットに従って配置されている必要があります。



リンクをクリックすると、[単位時間毎の消費データファイルの作成方法](#)に関する文書が表示されます。

▶ 単位時間毎の消費データを使用して消費電力を設定するには





1. 消費プロファイルの横にある  をクリックします。
2. システム検索ダイアログボックスで、お客様の単位時間毎の消費データを含んだ CSV ファイルを参照して選択し、開く をクリックします。
3. データがロードされ、消費電力カードに反映されます。


補助金カード

補助金とは、市、都道府県、小売電気事業者、その他の団体などが提供するプログラムであり、省エネ技術の導入や使用を奨励するために企画されています。デザイナーはプロジェクト当たり最大で5つの補助金をサポートします。太陽光発電設備のコストの補助に使用できる補助金は、国や地方によって大きく異なりますが、一般的には以下のタイプのいずれかに属します：固定補助金、システムコストに基づく補助金、システム発電に基づく補助金およびシステムのサイズに基づく補助金。補助金タイプと補助金パラメータのリストは、[補助金用語](#)のセクションに記載されています。

- 使用可能な補助金および使用のために選択された補助金は、選択された各補助金の簡単な説明とともに、補助金カードに表示されます。
- 補助金のリストに追加されると、補助金の横に編集  と複製  アイコンが表示されます。

補助金

補助金を選択    

 インセンティブを追加


このセクションでは、補助金で実行できるいくつかのアクションを紹介します。

- [補助金をプロジェクトに追加](#)
- [新規補助金を作成](#)

補助金をプロジェクトに追加

デザイナーは、各プロジェクトに最大で5つの異なる補助金を使用できます。

▶ 補助金をプロジェクトに追加

1.  補助金の追加をクリックします。
2. 補助金を 選択ドロップダウンリストから、補助金を参照し選択します。
3. 選択した補助金は、プロジェクトに関連した補助金のリストの下部に追加されます。

新規補助金を作成

あなたの地域で使用可能な補助金が補助金を選択ドロップダウンリストに自動的に表示されない場合は、新規補助金を作成して、補助金のパラメータに手動で値を入力できます。こうした操作は、新規補助金を作成ウィンドウで行います。

- 作成した補助金は、ユーザー定義補助金と呼ばれ、補助金名に(ユーザー定義)を付けて補助金を選択リストに表示されます。
- 各補助金タイプには独自の契約条件があるため、新規補助金の作成ダイアログボックスには該当するパラメータのセットのみが表示されます。
- ここで使用されている例とその説明は、システムコストに基づく補助金を作成することに基づいています。その他の補助金タイプに必要なパラメータは、[補助金用語](#)のセクションに記載および説明されています。

▶ 新規補助金の作成

1. 補助金の追加をクリックします。
2. 補助金の選択リストから、補助金が見つからないをクリックします。
3. 新規補助金の作成ウィンドウで、補助金のパラメータに値を入力します。各パラメータの説明は、補助金条件の表に記載されています。
4. プロジェクトの置かれた国に地方がある場合は、地方の補助金チェックボックスが表示されます。
 - a. ローカル補助金として補助金の使用を指定した地方に限定する場合は、チェックボックスにチェックを入れます。
 - b. チェックボックスをオフにしておくと、国内のどの地方にあるプロジェクトサイトでも補助金を利用できるようになります。
5. 補助金名フィールドに補助金の名前を入力します。補助金には固有の名前が必要です。
6. 補助金タイプドロップダウンリストから補助金のタイプを選択します。この例では、システム価格に基づく補助金を使用します。
7. 金額の割合フィールドに、システム所有者が補助金として受け取るべきシステム価格に対する割合を入力します。
8. 税金チェックボックスは、地方の補助金チェックボックスがチェックされていない場合に表示されます。補助金により発生した収益に課税する必要がある場合は、税金チェックボックスをチェックします。それ以外の場合は、チェックボックスをオフのままにします。
9. 地方の補助金チェックボックスがチェックされている場合は、国税および地方税チェックボックスが表示されます。補助金により発生した収益に課税する必要がある場合は、どちらか該当するオプションにチェックを入れます。それ以外の場合は、チェックボックスをオフのままにします。
10. 完了をクリックします。

システム価格カード

システム価格カードには、システム価格の設定に使用されるオプションが含まれています。システム価格は、以下を使用して、いくつかの方法で計算できます。

- 固定価格
- ワット当たりの価格
- 部品表 (BOM) に応じた価格

価格設定タイプドロップダウンリストから、プロジェクトに該当する価格設定タイプを選択し、付属のフィールドに入力します。

システム価格は、経済性分析の計算の一部に必要な構成要素です。

システム価格

| 価格設定タイプ | 価格 | 合計 |
|----------------|----------|-----------|
| 1W (DC) あたりの価格 | 150 ¥/Wp | 7270500 ¥ |

▶ システム価格の設定

1. 価格設定タイプドロップダウンリストから、プロジェクトに該当する価格設定タイプを選択します。

- 固定価格の場合は、価格フィールドにあるシステムに値を入力します。
- ワット (DC) 当たりの価格の場合は、価格フィールドにあるワット DC 当たりの価格を入力します。
- BOM に応じた価格の場合は、部品表カードの各アイテムのコストフィールドに値が示されるようにします。

2. 固定価格以外の場合、デザイナーは入手可能な情報に基づいて価格を計算し、システム価格設定カードに合計コストを表示します。システム価格のオプション詳細については、システム価格用語および部品表用語を参照してください。

システム価格設定に使用されるパラメータと用語は、[システム価格設定用語](#)のセクションに記載および説明されています。

部品表カード

部品表 (BOM) カードには、PV システムに含まれる部品や材料のアイテム別リストが表示されています。このカードには、アイテム列と数量列が含まれた表が表示されます。BOMの各行には、PV システムに含まれる各アイテムの名前と数量が記載されています。デザイナーは、PV モジュール配置と電気設計の仕様に基づいて、PV システムのコンポーネントを部品表に自動的に追加します。こうしたコンポーネントは、PV モジュール配置および電気設計仕様を更新する以外に、ユーザーが BOM から削除することはできません。ただし、デザイナーは BOM へのカスタムアイテムの追加をサポートしています。

部品表 (BOM) 📄 BOMを出力 ▼

| アイテム | 量 | 注釈 |
|-----------------------------|-----|----|
| SE2SK-JPI | 1 | |
| P730 | 66 | |
| Longi Solar, LR4-60HBD-370M | 131 | |

[🔗 カスタムアイテムを加える](#)

価格設定がBOMに基づいている場合は、カードにコストと合計が表示され、カードの下部に合計材料費の小計が表示されます。

| 部品表 (BOM) | | |
|-----------------------------|-----|----|
| アイテム | 量 | 注釈 |
| SE25K-JPI | 1 | |
| P730 | 66 | |
| Longi Solar, LR4-60HBD-370M | 131 | |

[BOMを出力](#)

[カスタムアイテムを加える](#)

カスタムアイテムのBOM への追加

▶ カスタムアイテムを BOM に追加

1. **カスタムアイテムの追加**をクリックすると、BOM の下部に新しい行が追加されます。
2. アイテム列の各カスタムアイテムに説明を入力します。
3. 数量列の各アイテムの数量に値を入力します。
4. コスト 列が表示されている場合は、アイテムのコストに値を入力します。

エネルギーコストと売電価格カード

時間の経過とともにPVシステムの収支に最も影響を与える要素は、系統からの買電コストと、PVシステムから得られた電力を系統に売り戻す際にシステム所有者が請求できる金額です。小売電気事業者は、消費者が系統からの電気を使用する際にある価格を請求し、PVシステムの所有者からは別の価格で電気を買取ります。この2つの取引を合わせて、電力料金メニューと呼んでいます。電力料金メニューは、電力需要が低くなったり高くなったりする様々な使用量や使用期間を反映するように構成されています。電力料金メニューのこうした側面は、それぞれ電気料金体系や電気料金スケジュールとして扱われます。

エネルギーコストと売電価格カードは、小売電気事業者と電力料金メニューを選択する場所です。料金メニューの作成と料金メニューの編集ダイアログボックスを使用して、電力料金メニューで使用するパラメータ値を設定し、価格体系と価格表を設定します。小売電気事業者と電力料金メニューの任意の組み合わせについて、これらのパラメータを料金メニューの概要ウィンドウで確認できます。

エネルギー消費と売電価格

小売電気事業者 * 電力料金メニュー * ✎ □ × 料金メニュー詳細 ▶

売電価格が購入電力料金メニューと異なる場合① 売電価格 * ✎ □ ×

一般的に料金メニューを記述するために使用されるパラメータと用語は、[電力コスト用語](#)のセクションに記載および説明されています。このセクションでは、電力料金メニューに関して実行できるいくつかのアクションを紹介します。



- [小売電気事業者と電気料金の選択](#)
- [電気料金メニューの見直し](#)
- [料金メニューの作成](#)
- [料金体系の設定](#)
- [料金表の設定](#)

小売電気事業者と電気料金の選択

小売電気事業者ドロップダウンリストには、サイトの国や地域で価格を設定しており、サイトの通貨と一致するすべての小売電気事業者が表示されます。電気料金ドロップダウンリストには、選択した小売電気事業者がサイトの国や地域で提供しており、サイトの通貨と一致するすべての料金が表示されます。

▶ 小売電気事業者と電力料金メニューの選択

1. 小売電気事業者ドロップダウンリストから、小売電気事業者を選択します。

- 電気料金メニュードロップダウンリストからニーズに合った電気料金メニューを選択します。
- 電気料金メニューを選択すると、編集  と複製  アイコンが電力料金メニューの横に表示されます。

電気料金メニューの見直し

電気料金メニューの詳細ウィンドウを開くと、選択した料金メニューの設定や条件を確認できます。ウィンドウは以下のように配置されています：

- 電気料金メニューの詳細枠
- 電気料金体系枠
- 電気料金スケジュール枠

以下のセクションで使用している例とその説明は、Southern California Edisonが提供するDomestic Time of Use Electric Vehicle Charging 電力料金メニューに基づいています。一般的に料金メニューを記述するために使用されるパラメータと用語は、[電力コスト用語](#)のセクションに記載および説明されています。

電気料金メニュー詳細

異なる小売電気事業者が、家庭用と産業用でそれぞれ異なる利用プランを提供しています。こうしたプランは、一般的に電気料金メニューの基本的なタイプのバリエーションです。電気料金メニューの詳細セクションには、選択した料金メニューが1年間に使用する電力のコストを時間ごと、週ごと、月ごとに計算する方法を定義した料金パラメータ、電気料金体系、電気料金スケジュールが表示されます。

| 料金メニュー設定 | | | |
|----------|--|--------|-------------------------------------|
| 分類* | <input checked="" type="radio"/> 住宅用 <input type="radio"/> 産業用 | 電気料金単位 | ¥/kWh/月 ? |
| 小売電気事業者* | test | 固定料金 | 0¥ ? |
| 料金メニュー名* | 料金プラン名を入力 | 最低価格 | 0¥ ? |
| 売電価格* | 独立した価格 ? | 有効開始日 | <input type="text"/> ? |
| 参照URL | ドキュメントのリンクを入力 | 有効終了日 | <input type="text"/> ? |
| 説明 | 説明を入力 | | |

電力料金体系

● 電気料金体系 (利用時間、階層)

| 期間 | 1か月あたりの最大利用量 | kWhあたりの料修正金単価 |
|-------------------|--------------|---------------|
| 1 | ∞ | 注 |
| 2 | ∞ | 注 |
| 階層1の料金単価を入力してください | | |
| 3 | ∞ | 注 |
| 階層1の料金単価を入力してください | | |

⊕ 期間を追加

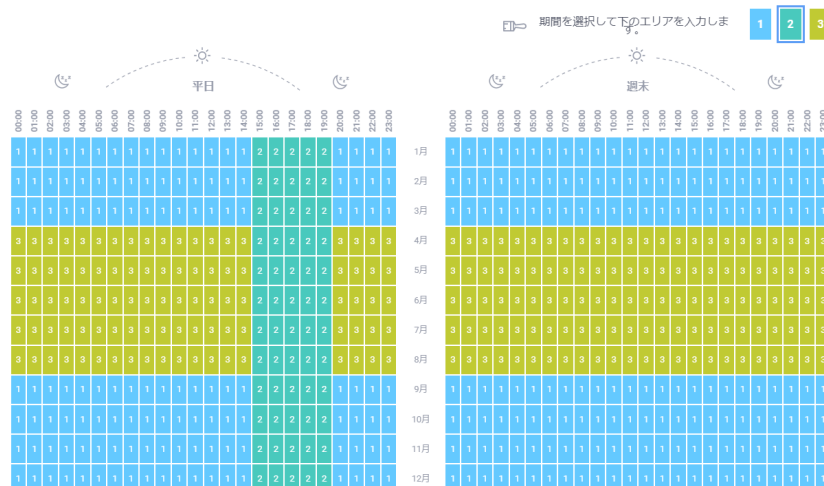
電気料金体系表には、電気料金メニューがどのように期間と階層に分割されるかを示します。この体系は、各期間に適用される料金メニューと、料金メニューに適用される補正係数を示しています。電気料金メニューの体系化が可能な例としては、以下があります：

- フラット、一定の電気料金メニューを持ちます。
- 階層化、各階層は電力消費レベルの増加を反映します。各階層にはそれぞれの電気料金メニューがあります。
- 季節変動では、1年の異なる季節で料金が変わります。
- 使用時間帯 (TOU)では、料金は1日の異なる時間帯で変わるとともに、平日と週末でも料金が変わります。
- 料金体系には、最大で9つの期間があり、各期間には最大で9つの階層があります。

電気料金スケジュール

電気料金スケジュールには、お客様の年間電力使用状況に最適なものとなるように、様々な電気料金体系の期間が、時間帯、週の一部、月ごとどのように適用されるかを反映したチャートが表示されます。

平日と週末の適用期間については、別のチャートを使用しています。



電気料金メニューの作成

電気料金メニューを設定するには、いくつかの方法があります。既存の料金メニューを新規料金メニューのテンプレートとして使用すると便利な場合があります。その場合には、料金メニューを複製または編集できます。既存の料金メニューをベースにして新しい料金メニューを作成することで、ニーズを満たせない場合のために、このセクションでは料金メニューを最初から作成し、料金パラメータを設定する方法を説明します。電気料金体系と電気料金スケジュールの設定については、別の専用セクションで説明しています。

▶ 電気料金メニューの作成

1. 小売電気事業者ドロップダウンリストを開き、リストの一番下まで移動します。
2. 電気料金メニューが見つからないをクリックまたはタップします。電気料金メニューの作成ページが開きます。
3. 小売電気事業者ドロップダウンリストから、小売電気事業者を選択します。
4. 電気料金メニューフィールドに、料金メニューの一意の名前を入力します。
5. 電気料金単位ドロップダウンリストから、1日当たりまたはひと月当たりの請求単位を選択します。選択により、電気料金体系の各期間に使用する単位値を設定します。
6. 小売電気事業者が電力消費量に関わらず一定の料金を適用する場合は、固定料金フィールドに金額を入力します。例えば、サービス料やメンテナンス料など、エネルギー消費とは関係のない定期的な料金です。それ以外の場合は、ゼロ (0) のままにします。
7. 最低料金フィールドに、料金期間中に電力消費量が最低基準に達しなかった場合に、小売電気事業者が料金を適用する場合の金額を入力します。それ以外の場合は、ゼロ (0) のままにします。
8. 新しい料金メニューが既存の料金メニューを置き換えることを意図している場合は、有効開始日フィールドに日付を入力します。設定した日付になると、古い料金メニューは自動的に失効し、新しい料金メニューが自動的に有効になります。手動で日付を入力するか、 をクリックして日付を選択します。
9. 新しい料金メニューが特定の日付に失効することを意図している場合は、有効終了日フィールドに日付を入力します。設定した日付に達すると、料金メニューは自動的に失効します。手動で日付を入力するか、 をクリックして日付を選択します。
10. 参照 URL フィールドに、小売電気事業者や料金メニューに関する情報を得るためのウェブアドレスを入力できます。任意
11. 説明フィールドに、料金メニューについての簡単な説明を入力します。入力は任意です。
12. 電気料金体系と電気料金スケジュールの詳細を引き続き設定するか、新しい料金メニューを保存することができます。
13. 新しい電気料金メニューを保存するには、ページの下部までスクロールして、完了をクリックします。小売電気事業者名と電気料金メニュー名が電力コストカードのそれぞれのフィールドに表示されます。
14. 料金メニューを保存すると、電力コストカード上の料金メニューを選択できるようになり、 料金メニューの編集をクリックまたはタップして、電気料金体系と電気料金スケジュールの設定を続行します。

料金体系の設定

新しい電力料金メニューを設定すると、電気料金体系表が空白のまま表示され、画像に説明された単一期間が含まれます。

電気料金体系には、最大で9つの期間を含めることができ、各期間には最大で9つの使用しきい値を含めることができます。プロセスを説明するため、2つの期間を持った電気料金体系を作成します。期間は説明の通りに分割され、補正は含まれません。

期間 1: 全てのオフピーク時間に適用される一般的なすべてをカバーするメニューで、2つの階層に分かれています。

期間 2: 3の階層に分かれている料金メニューです。これはすべてのピーク時をカバーしています。06:00-09:00 および 17:00-20:00

期間 1

| 階層 | しきい値 (kWh) | \$ 料金 |
|------|------------|-------|
| 階層 1 | 20 | 0.1 |
| 階層 2 | 制限なし | 0.15 |

期間 2

| 階層 | しきい値 (kWh) | \$ 料金 |
|------|------------|-------|
| 階層 1 | 10 | 0.15 |
| 階層 2 | 20 | 0.25 |
| 階層 3 | 制限なし | 0.3 |

▶ 電気料金体系の設定

1. 最大 kWh/月フィールドの期間 1 に、値を入力します。この場合は20で、続いてマウスポインターを料金メニューフィールドに挿入します。そうすると、次のしきい値の期間に新しい行が追加され、新しい行の最大 kWh/月フィールドに無限大記号が表示されます。
2. 最初のしきい値の料金メニューフィールドに0.1を入力し、2番目の階層の料金メニューフィールドをクリックまたはタップして0.15を入力します。電気料金体系は次のようになります

● 電気料金体系 (利用時間、階層)

3. + 期間を追加をクリックすると、単一の階層を持った新しい期間が電気料金体系表に追加されます。新しい階層に値を入力する前に、この期間には3つの階層を設定する必要があることがわかります。

4. 期間 2 のメニューアイコン（三つ線）をクリックまたはタップします。アクションメニューが開きます。⊕ 新しい階層をクリックします。これを2回繰り返すと、さらに2つの階層追加されます。

⊙ 電気料金体系 (利用時間、階層)

| 期間 | 1か月あたりの kWhあたりの料修正 | | |
|----|--------------------|--------|---|
| | 最大利用量 | 金単価 | |
| 1 | 20 kWh | 0.1 ¥ | ⋮ |
| | ∞ | 0.15 ¥ | |
| 注 | | | |
| 2 | ∞ | | ⋮ |
| | | | |
| 注 | | | |

階層1の料金単価を入力してください

⊕ 期間を追加

⊕ 新規ティアの追加

🗑️ この期間を削除

5. 上で設定した期間 2の表の値を使って、期間 2に属する3つの階層に値を入力します。以下のようになります：

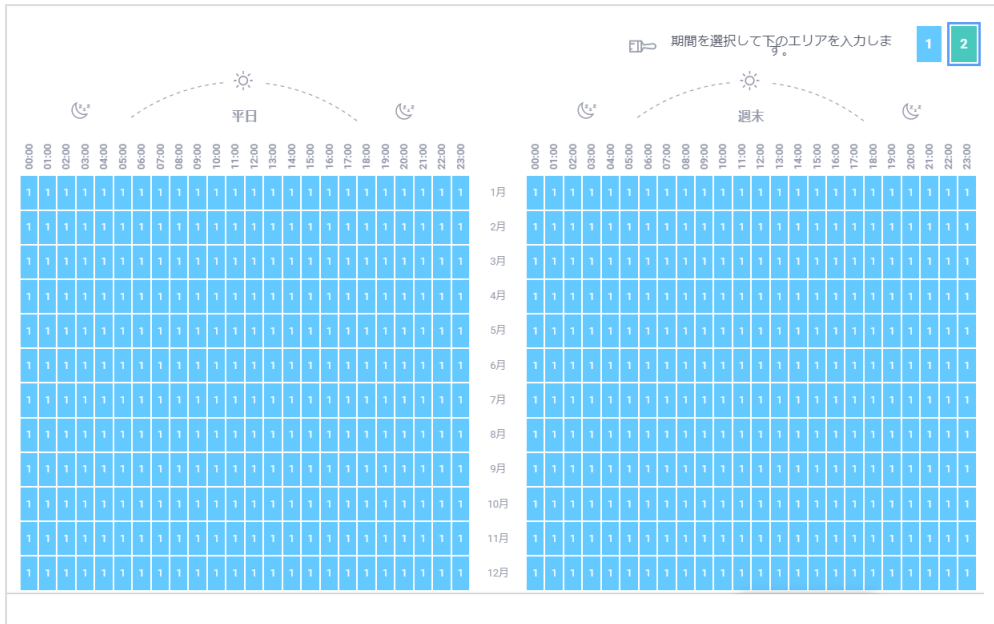
⊙ 電気料金体系 (利用時間、階層)

| 期間 | 1か月あたりの kWhあたりの料修正 | | |
|----|--------------------|--------|---|
| | 最大利用量 | 金単価 | |
| 1 | 20 kWh | 0.1 ¥ | ⋮ |
| | ∞ | 0.15 ¥ | |
| 注 | | | |
| 2 | 10 kWh | 0.15 ¥ | ⋮ |
| | 20 kWh | 0.25 ¥ | |
| | ∞ | 0.3 ¥ | |
| 注 | | | |

⊕ 期間を追加

料金表の設定

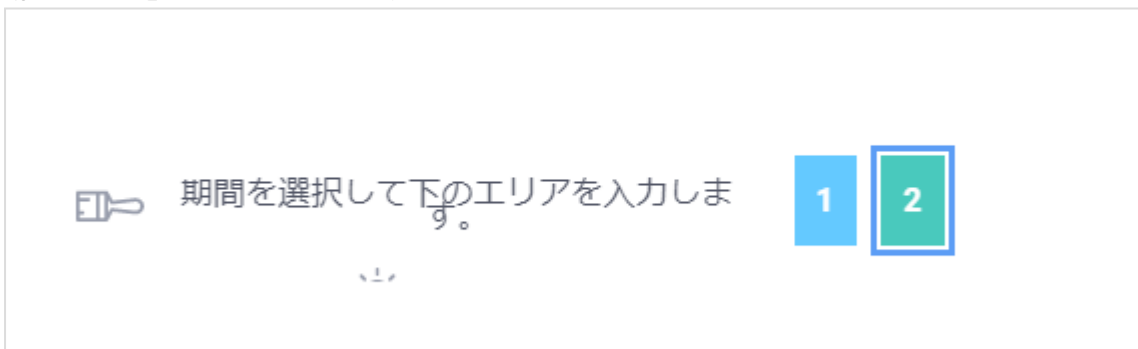
電力料金体系と同様に、新しい料金メニューを作成すると、最初の料金表には最初の期間のみが適用され、平日と週末の系統には期間 1に関連する色のみが表示されます。



新たに設定した料金体系を料金表に適用する必要があります。これを行うには、料金表ペイントブラシを使用して、電気料金表システムのセクションにそれぞれの色で印を付けます。

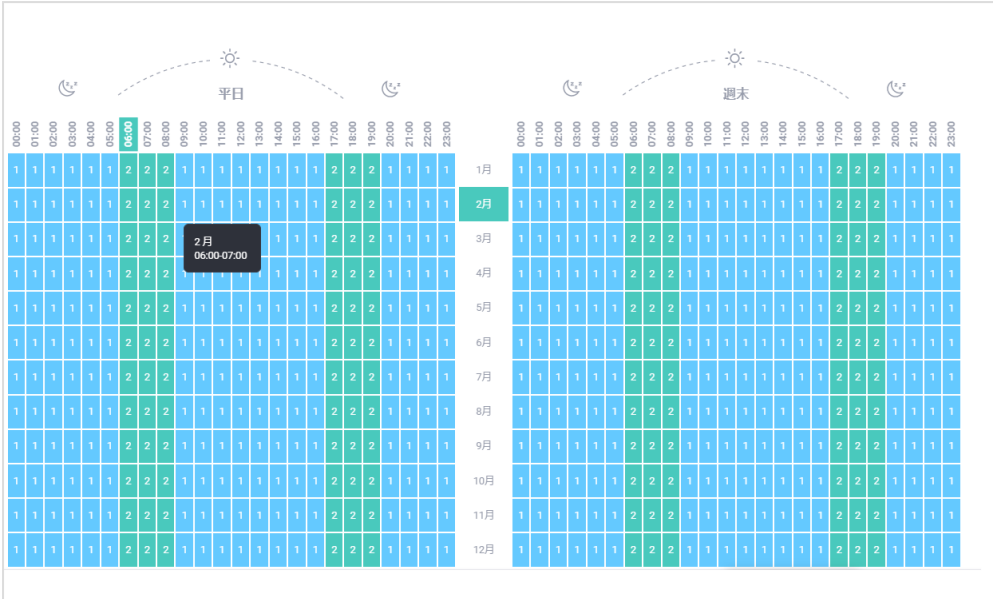
▶ 電気料金スケジュールの設定

1. 初期状態では、電気料金スケジュールのグリッドはすべて期間 1と表示されています。週末グリッドの上では、期間 1 タイルが選択されています。
2. 期間 2 タイルをクリックまたはタップします。



3. マウスポインターを系統の上に移動します。これを行うと、ポインターの形が変わり、料金表ペイントブラシの形が表示されます。グリッド上にマウスポインターをドラッグすると、選択した期間タイルに関連した色でセルがマークされます。
4. この例では、マウスポインタをグリッドの上にドラッグすると、ピーク時の使用時間 (06:00-09:00、17:00-18:00) を反映した期間 2 の色で系統が塗られます。

5. 平日と週末の系統をマークすると、以下のようになります。



6. 現実のシナリオでは、もっと多くの期間が存在します。電気料金スケジュールの系統を、関連する期間の色でマークするだけです。


7. 完了をクリックすると、設定が保存され、料金メニューの作成ページが閉じられます。

概要 & レポートタブ

概要 & レポート タブには、プロジェクト サマリーとプロジェクト レイアウト の2つのページがあります。経済性分析タブで提供されたデータに対応して生成された経済性報告書を確認する目的では、プロジェクト サマリー ページの内容にのみ関心があります。プロジェクト サマリー ページには多くのチャートやレポートがありますが、以下のレポートは実行された経済性分析の概要を示しています。

- 経済性の概要
- 予想電気料金削減額
- 詳細な経済性分析
- 年間キャッシュフロー

▶ 経済性分析レポートの確認と印刷

1. デザイナーのナビゲーションバーからサマリー & レポートをクリックし、プロジェクト サマリーをクリックします。
2. プロジェクト サマリーを経済性概要レポートに達するまで下にスクロールします。
3. レポートを印刷するには、サマリーとレポートタブの上部にある  をクリックします。

経済性の概要

このカードは、電力料金メニューとシステム料金設定情報の両方が経済性分析の一部として提供された場合にのみ表示されます。経済性概要レポートでは、経済性分析の計算結果を大まかに示し、以下を提示します

- 純支払額
- システム稼働期間にわたる電気料金削減額 (NPV)
- システムプロフィット
- 内部収益率 (IRR)
- 払戻期間



- 回収期間はキャッシュフローがブレイクイーブンになり、投資コストを回収するまでに必要な期間を示します。この場合は9.5年です。
- この例では、投資コストを約100,000円ドル削減する補助金が含まれています。補助金を無視した場合、詳細な経済性分析を参考にすると、回収期間は6年目のある時点で発生することになります。
- システム稼働期間にわたる電気料金削減額あるいはNPVは6,825,411円となり、これが削減額の現在の価値です。

予想電気料金削減額

予想される電気料金削減カードに記載されている情報は、ソーラーエッジシステムを設置する前の1年間のお客様の1時間あたりの消費量と選択した電気料金プランに基づいており、そこから電気料金の請求書は算出されています。次年度以降の詳細は、お客さまが引き続き同じ料金プランで電気を購入されることを前提としています。



- レポートタイトルの横にある年を選択すると、任意の年の電気料金削減データを25年のレポートに表示することができます。
- ページ上部のスイッチを使用すると、削減額を月平均または年平均で表示することができます。
- 現在の月間/年間電気料金額は、太陽光発電システムを設置しなかった場合の期間中の電気料金を推定したものです。

詳細な経済性分析

詳細な経済性分析チャートは、下図のような累積キャッシュフローとして表示することも、年間キャッシュフローとして表示することもできます。



このチャートでは、「経済性概要」に表示されているデータ以外の追加データも見るすることができます。これには以下が含まれます：

- システム価格
- メンテナンスコスト (NPV)、現在価値
- システムプロフィット (NPV)
- 投資収益率 (ROI)
- 平均化されたエネルギーコスト (LCOE)、1kWのエネルギーを生産するためのコスト。

年間キャッシュフロー

年間キャッシュフローレポートは、システムの25年の耐用年数における推定年間キャッシュフローの詳細を表にして表示します。他のレポートで異なる形式により表示されているデータに加えて、この表は、推定される交換コストとその発生時期を示しています。










| 年間キャッシュフロー | | | | | | | |
|------------|--------------|-----------|------------|-----------|--------------|--------------|--------------|
| #年 | システム価格 | 補助金の回収 | O&Mコスト | 交換コスト | 正味の増加分金総額 | 年間キャッシュフロー | 累積キャッシュフロー |
| 0 | -¥ 6,301,100 | ¥ 100,000 | | | ¥ 0 | -¥ 6,201,100 | -¥ 6,201,100 |
| 1 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 641,816 | ¥ 605,464 | -¥ 5,595,636 |
| 2 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 652,787 | ¥ 616,435 | -¥ 4,979,201 |
| 3 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 663,939 | ¥ 627,587 | -¥ 4,351,615 |
| 4 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 675,269 | ¥ 638,917 | -¥ 3,712,698 |
| 5 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 686,782 | ¥ 650,430 | -¥ 3,062,268 |
| 6 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 698,481 | ¥ 662,128 | -¥ 2,400,140 |
| 7 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 710,375 | ¥ 674,023 | -¥ 1,726,118 |
| 8 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 722,466 | ¥ 686,114 | -¥ 1,040,004 |
| 9 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 734,749 | ¥ 698,396 | -¥ 341,608 |
| 10 | | | -¥ 36,353 | -¥ 74,250 | ¥ 747,233 | ¥ 636,630 | ¥ 295,022 |
| 11 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 759,925 | ¥ 723,573 | ¥ 1,018,595 |
| 12 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 772,821 | ¥ 736,469 | ¥ 1,755,064 |
| 13 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 785,927 | ¥ 749,574 | ¥ 2,504,638 |
| 14 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 799,246 | ¥ 762,894 | ¥ 3,267,532 |
| 15 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 812,782 | ¥ 776,430 | ¥ 4,043,962 |
| 16 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 826,535 | ¥ 790,183 | ¥ 4,834,144 |
| 17 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 840,515 | ¥ 804,162 | ¥ 5,638,307 |
| 18 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 854,727 | ¥ 818,374 | ¥ 6,456,681 |
| 19 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 869,162 | ¥ 832,810 | ¥ 7,289,491 |
| 20 | | | -¥ 36,353 | | ¥ 883,831 | ¥ 847,478 | ¥ 8,136,969 |
| 合計: | | ¥ 100,000 | -¥ 727,050 | -¥ 74,250 | ¥ 15,139,369 | ¥ 8,136,969 | |

| | | | | | | | |
|--------|--|-------------|--------------|-----------|--------------|--------------|--------------|
| 18 | | | | -¥ 559.50 | \$33,396.25 | \$32,836.75 | \$481,079.78 |
| 19 | | | | -¥ 559.50 | \$33,603.58 | \$33,044.08 | \$514,123.86 |
| 20 | | | | -¥ 559.50 | \$33,812.07 | \$33,252.57 | \$547,376.43 |
| 21 | | | | -¥ 559.50 | \$34,021.65 | \$33,462.15 | \$580,838.58 |
| 22 | | | | -¥ 559.50 | \$34,232.32 | \$33,672.82 | \$614,511.40 |
| 23 | | | | -¥ 559.50 | \$34,444.13 | \$33,884.63 | \$648,396.04 |
| 24 | | | | -¥ 559.50 | \$34,657.08 | \$34,097.58 | \$682,493.61 |
| 25 | | | | -¥ 559.50 | \$34,871.18 | \$34,311.68 | \$716,805.29 |
| Total: | | \$84,066.84 | -\$13,987.50 | -\$14.55 | \$810,040.49 | \$716,805.29 | |

経済性分析の用語と説明

繰り返し行われる UI 操作と記号

経済性分析タブの様々なカードで繰り返し行われる UI 操作と記号がいくつかあります。こうした操作を下の表に一覧表示して説明します。

| UI 要素 | 名 | 説明 |
|---|-----------|--|
|  | アップロード | アップロード記号をクリックしてシステム参照ダイアログボックスを開き、ファイルを選択してアプリケーションにロードします。例えば、特定サイトの時間毎消費データをアップロードするために使用します。 |
|  | 複製する | 複製記号をクリックして、補助金などの特定の項目のコピーを作成します。これにより、情報を手動で再入力することなく、既存の情報を新しいアイテムのベースとして再利用できます。複製したアイテムは、固有の名前を付けないと有効になりません。これは、項目名の末尾に数字を付加する簡単なものです。 |
|  | 編集 | 編集記号をクリックして、補助金などの特定項目に設定されたパラメータを表示し、変更できます。 |
|  | 追加 | 追加記号をクリックすると、補助金の追加や部品表へのカスタムアイテムの追加など、カードに追加アイテムを加えることができます。 |
|  | 削除 | 削除記号をクリックすると、余分な補助金や部品表のアイテムなどをカードから除去できます。リストや項目からアイテムを削除しても、そのアイテムをプロジェクトから永久に破棄するわけではありません。 |
|  | 削除 | 削除記号をクリックすると、項目がシステムから削除されます。 警告：アイテムを削除すると、アイテムはアプリケーションから永久に除去されます。そのアイテムを再び使用するには、最初から特定の情報を再度入力する必要があります。 |
|  | カレンダー | カレンダー記号が日付を必要とするフィールドの横に表示されます。カレンダー記号をクリックしてカレンダーを開き、フィールドに入力する日付に移動して選択します。 |
|  | アクションメニュー | この記号が表示されている場所の次に、追加のアクションが実行できることを示します。⋮ をクリックまたはタップしてアクションメニューを開き、アクションを選択します。 |
|  | ツールのヒント | 入力が必要なパラメータを持ったカードには、入力フィールドの横にツールヒント記号が表示されません。マウスポインターをツールヒント記号の上に置くと、パラメータの簡単な説明が表示されます。 |

経済性パラメータ用語

| 用語 | 説明 |
|----------------|--|
| 通貨 | 経済性に関連するすべての値を計算する際に使用される通貨を設定します。サイトの通貨を明示的に設定しない場合は、サイトの国のデフォルト通貨が設定されます。 |
| 一般的な金利 | サイトのある国の一般的な金利を表すパーセント値。将来のキャッシュフローの現在価値を計算するために使用される金利すなわち、将来に貯蓄され、もしくは得たキャッシュが現在価値に換算していくらになるかを示します。 一般的な金利を上げると、正味現在価値 (NPV) と均等化発電原価 (LCOE) が減少します。 |
| 予想される電気料金値上げ | 電気料金の予想される年間上昇率を表すパーセント値。 |
| 予想されるシステム発電の低下 | 太陽電池モジュールの効率低下によるシステム生産性の年間低下。 |
| システム寿命 | 設置したシステムに予想される稼働年数。これにより、経済性分析が計算される期間が決定されます。 |
| 装置寿命 | 交換が必要になるまでに機器が機能すると予想される期間。 |
| 年間O&Mコスト | システムに設置された装置の kW (DC) 当たりのコストとして表される稼働およびメンテナンスの平均年間コスト。 |
| 装置交換コスト | 機器の耐用年数終了時に、システム機器を交換する場合の kW 当たりのコスト。 |
| 国税率 | 国の所得税率。システムの発電のうち逆流された電力に適用される課税額の計算に使用される税率の値を入力してください。 |
| 地方税率 | 地域の所得税の税率。システムの発電のうち逆流された電力に適用される課税額 |

| 用語 | 説明 |
|-------------------------|---|
| | の計算に使用される税率の値を入力してください。 |
| 電気料金削減は次によって収入として課税されます | 電気料金削減は、国や地域によっては収入とみなされる場合があります。この場合には、その地域に適用される課税率を選択する必要があります。通常、これは国税か地方税の税率です。 |
| 国税 | <p>国税チェックボックスを選択すると、国税の税率が税金計算に使用され、それシステムの発電のうち逆流された電力に適用されるとともに、経済性報告書の作成に使用されます。</p> <p>システムの発電のうち逆流された電力に課税されない場合は、このオプションをオフのままにします。</p> |
| 地方税 | <p>地方税チェックボックスを選択すると、地方税の税率が税金計算に使用され、それシステムの発電のうち逆流された電力に適用されるとともに、経済性報告書の作成に使用されます。</p> <p>システムの発電のうち逆流された電力に課税されない場合は、このオプションをオフのままにします。</p> |

電力消費の用語

| 用語 | 説明 |
|----------|---|
| 消費 | <p>設定した期間に使用される予定のエネルギー量をkWh単位で表示します。初期状態では、表示される値は「プロジェクト情報」ページに入力した値と同じです。エネルギー消費タブで消費値を変更すると、「プロジェクト情報」ページに表示される値が更新されます。</p> <p>エネルギー消費値がプロジェクト情報の一部として入力されていない場合は、「経済性分析」ページの電力消費フィールドが空白になります。</p> |
| 期間 | <p>期間は、電力が消費される時間を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 年間：消費フィールドに入力された値は、1年間に消費された電力量を示します。 ■ 月間：消費フィールドに入力された値は、暦月に消費された電力量を示します。 |
| 消費プロファイル | <p>事業や住宅が1日および1週間に消費する電力の指標となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 常時電力消費：週7日間の常時電力消費を示します。 例としては、集中冷却システムを備えた店舗、駐車場、データセンターなど。 ■ 夕刻に集中した消費：週7日間、主に夕刻の時間帯に高い電力消費が発生することを示します。 例としては、ホテル、レストラン、ガソリンスタンド、スポーツセンターなど。 ■ 平日に集中した消費：週5日間、主に通常の平日勤務時間帯に高い電力消費が発生することを示します。 例としては、オフィス、カフェテリア、銀行、サービスプロバイダーなど。 ■ 商業（ショッピング時間帯）：週6日間、主に通常の平日勤務時間帯に高い電力消費が発生することを示します。 例としては、食料品店、小売業、デパートなど。 ■ 学齢期の子供がいる家庭：午前と午後の生活時間帯に高い電力消費が発生することを示します。 ■ 乳児や未就学児のいる家庭：午前と午後の生活時間帯に加え、昼間のその他の使用により、高い電力消費が発生することを示します。 ■ 単身または2人世帯：居住者が出勤準備をする朝の時間帯および夕方の帰宅時間帯に高い電力消費が発生することを示します。 ■ 退職者または在宅勤務者：ほとんどの電力消費が通常の昼間の時間帯/勤務時間帯に発生することを示します。 ■ 夜間の消費量が多い：ほとんどの電力消費が夜間の時間帯に発生することを示します。 |

補助金用語

| 用語 | 説明 |
|----------|---|
| 補助金を選択 | <p>補助金を選択ドロップダウンリストには、以下に該当する補助金が表示されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクトの国もしくは地方へ適用されるもの ■ プロジェクトに関連する通貨と一致するもの ■ 現在有効であり、使用可能なもの <p>ドロップダウンリストから補助金を選択すると、その補助金がプロジェクトに追加され、補助金名と簡単な説明が表示されます。</p> |
| 補助金を追加 | 補助金のドロップダウンリストに例を表示します。 |
| 新規補助金を作成 | <p>あなたの地域で使用可能な補助金を選択ドロップダウンリストに自動的に表示されない場合は、新規補助金を作成して、補助金のパラメータに手動で値を入力できます。</p> <p>作成した補助金は、ユーザー定義補助金と呼ばれ、補助金名に(ユーザー定義)という接尾語を付けて「補助金を選択」リストに表示されます。</p> <p>こうした操作は、新規補助金を作成ウィンドウで行います。</p> |
| 補助金の状況 | <p>プロジェクトの置かれた国に都道府県や州などの地方自治体がある場合は、表示されます。チェックボックスは、プロジェクトが立地する場所に補助金が存在し、それをサポートしている地方自治体内での使用に限定できることを示します。</p> <p>地方自治体名補助金(例えばカリフォルニア州補助金など)のチェックボックスを選択し、この補助金が指定された地方でのみ使用可能であることを示します。</p> <p>地方自治体名補助金がチェックされていない場合は、その国に属するすべての地方で補助金を使用することができます。例えば、プロジェクトのサイトが米国内にある場合は、補助金は米国内の任意の州にあるプロジェクトサイトで使用することができます。</p> |
| 補助金名 | <p>補助金名フィールドに補助金の名前を入力します。</p> <p>すべての補助金には、固有の名前が必要です。</p> |
| 補助金タイプ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 固定補助金：固定された現金の形で与えられる補助金。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 金額：補助金の金額を入力します。 税金：補助金から発生した収益が課税対象であるかどうかを示します。 補助金から発生した収益に課税が必要な場合は、課税対象チェックボックスを選択します。 ■ 補助金によって発生した収入が非課税である場合は、課税対象チェックボックスを選択しないでください。 ■ 概要：システム所有者が補助金として受け取る内容について、簡単な説明が提供されます。 ■ システムコストに基づく補助金：これはコストに基づく補助金です。システム所有者は、システムコストの一定割合として1回限りの補助金を受け取ります。この補助金は、初年度には税額控除または払い戻しとして供与されます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 金額の割合：システム所有者が補助金として受け取るべきシステムコストの割合を入力します。 税金：補助金から発生した収益が課税対象であるかどうかを示します。 補助金により発生した収益に課税が必要な場合は、課税対象チェックボックスを選択します。 ■ 補助金によって発生した収入が非課税である場合は、課税対象チェックボックスを選択しないでください。 ■ 概要：システム所有者が補助金として受け取る内容について、簡単な説明が提供されます。 ■ システム発電ベースの補助金： <ul style="list-style-type: none"> ■ kWh 当たりの補助金：補助金の金額算出に使用される kWh 当たりの金額を入力します。 ■ 補助金増加率：補助金の期間中に、毎年 1kWh 当たりの補助金を増加させるために使用される割合の値を入力します。 ■ 期間(年単位)：補助金が失効するまでの年数を入力します。 |

| 用語 | 説明 |
|-------------------------------|--|
| | <p>税金：補助金から発生した収益が課税対象であるかどうかを示します。</p> <p>補助金により発生した収益に課税が必要な場合は、課税対象チェックボックスを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 補助金によって発生した収入が非課税である場合は、課税対象チェックボックスを選択しないでください。 ■ 概要：システム所有者が補助金として受け取る内容について、簡単な説明が提供されます。 <p>■ システムサイズに基づく補助金：これはシステムサイズに基づいた補助金です。システム所有者は、以下に基づき現金の補助金を受け取ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 次に基づく：補助金のベースがACかDCかを選択します。 ■ 補助金：補助金の金額算出に使用されるワット当たりの金額を返金率フィールドに入力します。 ■ 上限：補助金の上限が存在する場合は、上限値を入力します。補助金に上限がない場合は、フィールドを空白にします。0は有効な入力値ではありません。 <p>税金：補助金から発生した収益が課税対象であるかどうかを示します。</p> <p>補助金により発生した収益に課税が必要な場合は、課税対象チェックボックスを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 補助金によって発生した収入が非課税である場合は、課税対象チェックボックスを選択しないでください。 ■ 概要：システム所有者が補助金として受け取る内容について、簡単な説明が提供されます。 |
| この補助金をユーザーが以下で利用可能にする：マイアカウント | このチェックボックスを選択すると、あなたのアカウントにアクセスできるユーザーは補助金を利用できるようになります。 |

システム料金設定の用語

| 用語 | 説明 |
|---------|---|
| 料金設定タイプ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 固定料金：料金フィールドにシステムの金額を入力します。 ■ ワット当たりの価格 (DC)：料金フィールドにワットDC当たりの料金を入力すると、アプリケーションがこの値に、接続された全モジュールのSTCパワー合計を乗算して合計料金を算出します。 ユーザー設定の「ワット (DC) 当たりの料金」に値が存在する場合は、その値が料金フィールドの初期値として自動的に表示されます。 ■ BOMによる料金：ドロップダウンリストからこのオプションを選択すると、BOMカードにコスト列と合計列が追加されます。すべてのBOMコンポーネントの合計価格が計算され、システム料金設定カードに表示されます。 |
| 料金 | システムのコスト |

エネルギーコストの用語

| 用語 | 説明 |
|--------------|--|
| 小売電気事業者 | <p>サイトの国と地方で料金プランを持っており、サイトの通貨と一致するすべての小売電気事業者を表示します。</p> <p>ドロップダウンリストをクリックしてリストからプロバイダーを選択するか、料金メニューが見つかりませんをクリックして料金メニューの作成ウィンドウ開き、カスタム料金メニューを作成します。</p> |
| 電力料金単位 | <p>電力使用に対する料金請求に使用する単位を表示します。オプションには以下が含まれます:</p> <p>¥/kWh/日</p> <p>¥/kWh/月</p> |
| 料金メニューの詳細 | <p>クリックして料金メニューの概要ウィンドウを開くと、選択した料金が1年間に使用する電力のコストを時間ごと、週ごと、月ごとに計算する方法を定義する料金パラメータと料金体系が表示されます。</p> <p>料金メニューは以下の3つの要素で構成されています:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ パラメータと料金を設定した小売電気事業者。 ■ 最大9つの請求期間を含むことができ、それぞれに個別のしきい値と使用料金メニューを割り当てることができる料金体系。 ■ お客様の年間を通じた電力使用状況に最適なものとなるよう、様々な料金体系の期間を1日の異なる時間帯、週の一部、異なる月に適用できる料金表です。 |
| 電力料金メニュー | <p>料金メニューは、系統から買電する 1kWh 当たりの料金を表します。この料金メニューは、均一、階層化 (消費階層による)、季節変動 (1年の異なる季節で変わる料金)、TOU (1日の異なる時間帯で変わる料金)、および平日と週末で変わる料金があります。</p> <p>選択した小売電気事業者がサイトの国と地方で提供しており、サイトの通貨と一致するすべての料金メニューを表示するドロップダウンリスト。</p> <p>各料金メニューは小売電気事業者に属しており、一意の名前を持つ必要があります。料金メニューは小売電気事業者に属しているとともに、複製して編集することにより、特定のお客様が利用できる特定の条件を利用条件に反映させることができます。</p> |
| 電気料金メニューのタイプ | <p>異なる小売電気事業者が、家庭用と産業用でそれぞれ異なる利用プランを提供しています。これらのプランは、ここで説明するように、一般的に料金メニューのいくつかの基本的なタイプのバリエーションです。特定のユーティリティに関連する契約条件を正確に理解して評価するには、特定の小売電気事業者の文書を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 均一または固定料金メニュー: kWh 当たりの固定料金です。料金は夏と冬の使用でも、週末や季節によって異なる場合があります。 ■ 使用時間 (TOU): 1日の時間帯によって kWh 当たりの料金メニューが異なります。電気料金は、夜間や週末には安く、エネルギー資源の需要があるピーク時間帯には高くなります。料金は季節によって変動する場合があります。様々なプロバイダーがTOUプランを提供しており、全体的なコストを削減し、太陽光発電による再生可能エネルギーの利用を考慮したオプションをユーザーに提供しています。 ■ 階層化料金メニュー: 使用量の上限やしきい値がある電力パッケージや割り当てを含んだ使用プランです。各割り当ては階層と呼ばれ、お客様は階層内での電力使用に対して、kWh 当たりの単一料金を支払います。月間の電力消費量がベースライン階層のしきい値を超えると、次のより高価な階層に割り当てられた電力消費量に料金メニューが上昇します。多くのプロバイダーが複数階層のプランを持っています。例えば、TOU料金と階層化料金メニューを組み合わせたプランでは、ピーク時やオフピーク時などの使用時間帯に応じて階層化料金メニューが変わります。 ■ 需要料金: 小売電気事業者が非住宅用または商業用の顧客に対して、一定の電力供給を維持するために請求する追加料金。こうした料金は、企業が毎月の電気代として支払う必要がある大きな金額になります。こうした金額は総電気料金の50%以上になることもあります。場合によっては、需要料金は電気代のエネルギー部分よりも実際に高くなるこ |

| 用語 | 説明 |
|------------|--|
| | <p>とがあります。そのため、企業が毎月請求される電気料金は、その月にどれだけ電気を使ったかだけでなく、電気を消費した料金メニューによっても左右されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 需要は、課金サイクル内の任意の時点で企業が使用するエネルギーの最高額として定義できます。 |
| 固定料金 | 電力消費量に関係なく、小売電気事業者が適用する料金または請求金額。これを固定料金メニューやフラット料金メニューと混同しないでください。 |
| 最低料金 | 請求期間中に電力消費量が最低しきい値に達しなかった場合に、小売電気事業者が適用する料金または請求金額。 |
| 買電レート | <p>小売電気事業者が逆流された電力に対して支払う料金メニュー。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 固定料金メニュー：逆流されたすべての kWh は設定された一定の価値があると評価されます。 ■ 小売料金メニュー：逆流されたすべての kWh は、系統からインポートされた kWh と同じであると評価されます。これは従来のネットメータリングのルールに使われています。 ■ 固定削減付き小売料金メニュー：逆流された kWh は、小売料金メニューから、削減 ¥/kWh フィールドで設定された kWh 当たりの指定された削減分を差し引いたものとして評価されます。 ■ 割合削減付き小売料金メニュー：逆流されたすべての kWh は、小売料金メニューの割合として評価されます。割合削減は、削減 % フィールドで設定されます。例えば、10% 削減すると、逆流された電力の価値は小売価格の90%になります。 |
| 有効開始日 | この料金メニューが既存の料金メニューを置き換えるものであるかどうかを示します。設定された開始日に達すると、既存の料金メニューは自動的に失効します。 |
| 有効終了日 | 料金メニューに有効期限があるかどうかを示します。設定された終了日に達すると、既存の料金メニューは失効します。 |
| 電力料金体系 | <p>選択した料金メニューが、1年間の1時間ごと、1週間ごと、1か月ごとの電力コストを計算する方法を定義するために使用されるパラメータが含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 期間：期間とは、電力のパッケージをいくつかまとめて、そのパッケージのコストを顧客に設定する単位です。期間は、料金表に適用される単位です。 ■ 階層：定義された電力量をパッケージにまとめたもの。 ■ 最大 kWh：電力の上限。 ■ 料金メニュー ¥/KWh:階層に含まれる電力量に対する電力1kWh当たりのコスト。 |
| 電気料金スケジュール | <p>お客様の年間のエネルギー使用状況に最適なものとなるよう、1日の異なる時間帯、週の一部、異なる月に料金体系の期間を配分または適用するやり方を説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 平日：平日の指定期間に適用する為に使用するチャート。 ■ 週末：週末の指定期間に適用する為に使用するチャート。 |

